

世代を越えて“ふれあい交流”進めています！



赤坂ふれあいまつり



赤坂ふれあいマルシェ



赤坂ふれあいもちつき大会



赤坂ウェルクラブ・美化活動



赤坂ふれあい歩こう会



ながよし広場(ゼロン活動)

活動のお手伝いをしてくれる方を募集中！

関心のある方はお気軽にお問合せください。

お問合せ 赤坂地区社会福祉協議会・赤坂まちづくり協議会

〒807-0829 北九州市八幡西区星和町 28-26

赤坂市民センター内

TEL 093-601-0782 FAX 093-601-0783



# あかさか

赤坂地区 第一次

ふくしのまちづくり計画



概要版

## “好きっちゃ赤坂”

いつまでも住み続けたいまちにしよう

# 2024

# ▶ 2028

# 基本理念

## “好きっちゃ赤坂”

いつまでも住み続けたいまちにしよう

住み慣れたまち赤坂で「いつまでも住み続けたいまちにしよう」という思いをカタチにするため、住民や地域の関係者が協力し合いながら、継続的に取り組んでいくためのふくしのまちづくり計画をつくりました。

赤坂地区では、これからも、子どもから高齢者まで、障害のあるなしに関わらず共に生きる地域を目指して2024年から2028年までの5ヵ年に行う4つの基本目標と具体的な取組みを定めました。

### ◆◆◆基本目標と取組み◆◆◆

基本目標	安心・安全なまちをつくろう	赤坂の宝を育もう	世代を越えた絆をつくろう	元気がこだまするまちにしよう
方向性	子どもから高齢者、子育て世代、障害のある方など誰もが安心して暮らせるよう、見守り活動を継続し、気軽に相談できるような体制づくりを目指します。また、そのためにもまち協や自治区会、各団体との連携を強化します。	赤坂地区では平成21年より、次世代の福祉活動者の育成のためウェルクラブ活動を始めました。少子化により子どもの数は減少していますが、地域に住む子どもは地域で育てる気持ちで、大切にしていきたいと思っています。	若い世帯の自治区会加入率の低下や地域活動への参加が少なくなり、地域住民同士の交流が減ってきています。ウェルクラブ活動に参加してくれる子どもやその保護者、サロンに参加している高齢者との交流の場を持ち、地域住民全体がふれあう場を作りたいと思っています。	地域住民一人ひとりが赤坂地区に興味を持ってもらい、地域が取り組んでいる行事に参加することにより、みんなが顔見知りになって、誰とでも挨拶ができる地域を目指します。
主な取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇防災訓練</li> <li>◇防犯・防災講座</li> <li>◇校区見守りパトロール</li> <li>◇朝の声かけ清掃活動</li> <li>◇赤坂フラワー街道の会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇赤坂ウェルクラブ活動</li> <li>◇高齢者への年賀状送り</li> <li>◇わいわい広場 (子ども菜園事業)</li> <li>◇子育てサークルきらら (子育て支援事業)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇赤坂ふれあいまつり</li> <li>◇赤坂ふれあいマルシェ</li> <li>◇赤坂ふれあいまちつき大会</li> <li>◇赤坂ふれあい歩こう会</li> <li>◇ものわすれ予防事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇親睦グラウンドゴルフ大会</li> <li>◇サロン活動</li> <li>◇高齢者見守り訪問活動</li> <li>◇ふれあい昼食交流会</li> <li>◇講座(健康講座等)</li> <li>◇健康推進委員会事業</li> <li>◇広報活動 (赤坂ふれあい通信、館報他)</li> </ul>

## ◆重点実施項目

基本目標を達成するために特に力を入れて取り組む内容です

### 活動者(役員及び福祉協力員)の人材確保

#### 抱える問題点

活動者の高齢化が進んでいます。また、地区別にみた活動者の偏在が気になります。

#### 解決のために取り組むこと

ふれあい通信や館報等を利用し、広報活動に努め、できる人ができることを無理なくやっていく“小さなボランティア”から、人材発掘を目指します。

### 子どもや高齢者が集う“ふれあいの場”の充実

#### 抱える問題点

コロナ禍の影響で長期にわたり活動を自粛してきました。ウェルクラブ活動、地区サロンは再開しましたが参加者の減少、新規参加者が乏しく、活動の広がりが鈍い状況にあります。

#### 解決のために取り組むこと

世代を越えて“ふれあい交流”ができる『居場所づくり』を目指し、地域住民の交流を深めます。